

平成27年度

武雄市教育委員会点検評価報告書

(平成26年度分)

はじめに

武雄市教育委員会では、武雄市総合計画において、まちづくりの基本理念である「元気な、ぬくもりのある、人がかがやく ユニバーサルデザインのまち」を目指すとし、その方向として示されている「快適・ゆとりを実感できるまち」「パートナーシップを育むまち」「創造・かがやきあふれるまち」の実現のため、教育の基本方針を「歴史と文化と地域が育む心豊かなまちを目指して」と定め、

「知・徳・体の調和のとれた子どもを育む学校教育の推進」

「生きがいを高める生涯学習・生涯スポーツの推進」

「明日につながる伝統文化の継承と多彩な文化の創造」

「安全・安心な教育環境の整備」

「市民総参加による教育の推進」

の5つの基本目標を掲げ、各種の事務事業に取り組んできました。

一方、教育委員会が効果的な教育行政を推進していくためには、自らの活動を点検・評価し、公表することが重要です。

このため、平成19年の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、平成20年度から毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理執行状況について、点検及び評価を行い、その結果を報告書として、議会に提出するとともに、市民の皆様へ公表することとされています。

このことから、教育委員会では、平成26年度に実施した各種の事務事業が効率的かつ、有効的に行なわれてきたかを点検・評価し、課題や取組みの方向性について、点検評価報告書としてまとめました。

この点検・評価結果を、市民の皆様へ公表するとともに、今後の武雄市教育行政の一層の充実、推進へとつなげていき、武雄市総合計画に掲げられたまちづくりの実現に向けて努めていきたいと考えています。

皆様のご理解ご協力を宜しくお願い申し上げます。

平成27年9月

武雄市教育委員会

＜ 目 次 ＞

1 点検・評価に当たって	2
・平成26年度武雄市の教育施策の体系	3
2 平成26年度の具体的施策、評価委員からの指摘事項・ご意見	
・基本目標Ⅰ 知・徳・体の調和のとれた子どもを育む学校教育の推進	4
・基本目標Ⅱ 生きがいを高める生涯学習・生涯スポーツの推進	9
・基本目標Ⅲ 明日につながる伝統文化の継承と多彩な文化の創造	13
・基本目標Ⅳ 安全・安心な教育環境の整備	15
・基本目標Ⅴ 市民総参加による教育の推進	16
・評価委員評価	18

1 点検・評価に当たって

1 点検評価の対象

今回実施した点検評価の対象は、平成26年度武雄市の教育基本方針に基づき実施した学校教育関係、生涯学習・スポーツ関係、歴史・文化関係及び地域との連携等の各種事務事業を対象としました。

2 点検評価の方法

(1)点検評価に際しては、必要性、効率性、有効性、公平性等の観点から分析し、課題や問題点、今後の改善点について示すこととしました。

(2)点検評価に際し、その客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方など5人で構成する教育委員会評価委員会を設け、様々なご意見、助言をいただきました。

評価委員会委員の方々は次のとおりです。

委員長	中島秀明
副委員長	金丸勝美
委員	後川静枝
委員	山口左内
委員	井手泰子

(順不同、敬称略)

H26 武雄市の教育 施策の体系

【基本方針】	【基本目標】	【重点事項】	【具体的施策】
歴史と文化と地域が育む心豊かなまちを目指して	基本目標Ⅰ 知・徳・体の調和のとれた子どもを育む学校教育の推進	1 確かな学力の育成	(1)学力の現状把握と指導の充実、土曜日等の効果的な活用 (2)家庭学習習慣の定着 (3)読書活動の推進 (4)外国語教育の推進
		2 豊かな心の育成	(1)道徳教育の充実 (2)不登校やいじめ、問題行動への対応と相談体制の充実 (3)人権・同和教育の充実 (4)特別支援教育の推進 (5)特色ある学校づくりの推進
		3 たくましい身体の育成	(1)基本的な生活習慣の定着 (2)食育の推進 (3)健康教育の推進 (4)体力・生涯体育の基礎づくり
		4 幼・保・小・中連携の推進	(1)幼・保・小連携の推進 (2)小・中連携の推進
		5 教職員の資質や指導力の向上	(1)教職員研修の実施 (2)勤務規律の保持・徹底とメンタルヘルス対策の強化 (3)教職員の意識改革の推進
		6 社会の進展に対応した教育の推進	(1)新たな学校づくりの推進 (2)ICT機器を活用した教育環境の整備・充実 (3)ユニバーサルデザイン教育の推進 (4)環境に配慮した教育の推進
	基本目標Ⅱ 生きがいをもつ生涯学習・生涯スポーツの推進	1 明日を担う青少年教育の推進	(1)トムソーヤ事業の推進 (2)就学前における地域との絆づくり (3)義務教育期の体験学習の機会提供と支援 (4)青年期における学習・活動の機会拡充
		2 生涯学習の推進	(1)学習機会の提供 (2)地域連帯感の醸成 (3)人権尊重社会の形成
		3 生涯スポーツの推進	(1)県民体育大会の開催 (2)総合型地域スポーツクラブの活動支援 (3)スポーツ推進委員による生涯スポーツの推進 (4)トップアスリートとの交流推進 (5)基礎体力向上のメニューの開発と推進 (6)各種生涯スポーツ大会の誘致 (7)スポーツ情報の発信
	基本目標Ⅲ 明日につながる伝統文化の継承と多彩な文化の創造	1 市民文化の振興と継承	(1)文化活動の育成・推進 (2)芸術文化事業の充実 (3)武雄市民ジュニアウィンドオーケストラ育成事業の推進
		2 文化財の保護・伝承と活用	(1)国・県・市指定史跡等の環境維持と活用 (2)史跡おつほ山神籠石の公有化と整備計画の策定 (3)無形民俗文化財の後継者育成と発表会の充実 (4)文化財資料の調査と指定 (5)開発と埋蔵文化財保護との調整
	基本目標Ⅳ 安全・安心な教育環境の整備	1 安全・安心な教育環境の整備	(1)安全・安心な環境づくり (2)安全教育の徹底
		2 教育施設・設備の充実	(1)教育施設・設備の点検、整備 (2)安全・安心な学校づくり (3)安心して学べる快適な社会教育施設づくり
	基本目標Ⅴ 市民総参加による教育の推進	1 地域のよさや伝統を生かした教育の推進	(1)地域を生かした教育活動の推進 (2)地域に根ざした学校運営の推進 (3)地域文化の継承と文化財保護意識の高揚
		2 学校・家庭・地域・諸機関・事業所などの連携の推進	(1)学校教育活動の公開 (2)地域・関係機関との連携強化 (3)キャリア教育の推進
		3 教育委員会の積極的な情報公開	(1)教育委員会の会議の公開 (2)公民館活動の積極的な公開 (3)教育委員会の点検評価

1 平成 26 年度の具体的施策、評価委員からの指摘事項・ご意見

基本目標 I 知・徳・体の調和のとれた子どもを育む学校教育の推進

【重点事項 1】 確かな学力の育成

具体的施策	評価委員からの指摘事項・ご意見
(1) 学力の現状把握と指導の充実、土曜日等の効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> ◆項目の7割が県平均以上という目標は、一般には分かり難い。例えば各学年、全児童生徒の7割が、県平均を超えているというのであれば分かるので検討してほしい。 ◆学校では、ICTを取り入れた授業に取り組みされており、効果的な利活用は、市の方針を受け止め、先生方が研修に励み、努力をされていて初めて実現する。市一丸となって、進められていることに敬意を表すと共に、今後、児童、生徒の学習意欲を高め、学力の向上に結び付くよう、さらなる広がりとして定着を望む。
①学習状況調査などの結果を分析し、指導方法の工夫・改善に努めるとともに、前年度正当率を上回るよう指導の充実を図ります。	
②土曜日等の効果的な活用を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ◆保護者や地域の支援を得ながら基礎的・基本的な事項の確実な定着のために土曜日等の時間を有効活用してほしい。 ◆家庭や地域の行事を考えて、できるだけ中学校区毎に小中同一日を実施してほしい。
(2) 家庭学習習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> ◆各学校のマネージメントにより親が確認できる仕組み作りを。 ◆学年に応じた家庭学習の確実な実施並びに使用の決まりを守りタブレット端末活用を習慣化したい。 ◆家庭学習は、家庭で学習ができるような環境であるかは重要で、できるかできないかを大きく左右すると思う。基本的な生活習慣、保護者への理解と協力と共に、家庭学習習慣を身につけてほしい。 ◆タブレットを使ったスマイル学習も大事だと思うが、家庭学習時間はスマイル学習を入れないで目標時間を設定出来ないか。
①学年に応じた家庭学習目標時間を設け、家庭学習の習慣を身につけさせます。	
②スマイル学習（武雄式反転授業）の活用	<ul style="list-style-type: none"> ◆学び合いにつなげるスマイル学習の教材を模索されたい。 ◆中学校でも反転授業が始まるので、中学生の家庭でもタブレット使用等を確認してほしい。 ◆スマイル学習の活用は、動画を見たかが、記録として残り、確認でき100%は素晴らしい。

(3) 読書活動の推進	
①朝の読書活動や読書ボランティアの活用を通して、読書の楽しさを伝えます。また、全学校で朝読書や本の読み聞かせを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆読書の推進を継続する。特に、各学校の読書ボランティアは学校運営の支援者である。保護者・地域との連携を大切にしたい。 ◆地域ボランティアの読み語りも小学校では定着してきていて、子どもたちも楽しみにしてくれていて、ほっとできる時間でもある。週5日の朝の時間が他の事業（はなまる学習）に変わってしまうのは、どうかと思う。バランスを考えてほしい。 ◆朝の10分間読書はとても大切だと思うので、是非やってほしい。
②読書の楽しさと必要性を伝えながら読書意欲の向上を図ります。また、武雄市図書館との連携と活用を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆市立図書館はすばらしいと思うが、学校ではまず学校図書館をしっかり利用することだと思う。昨年「武雄市おすすめの本」が整備されているのでこれも活用する。本が好きになったらこの素晴らしい図書館に土・日に出かけたいと思うようになると思う。 ◆市立図書館は、近い学校だけ活用するのではなく、市のバスなどを活用して遠い学校の児童生徒も活用できるよう配慮してほしい。
(4) 外国語教育の推進	
ALTの活用、武雄っ子英語スペシャリスト育成事業、小学校での外国語活動などを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ALTと小学校担任との協力享受による外国語活動は児童の学校生活を活性化させる重要な要素である。充実を図りたい。

【重点事項 2】 豊かな心の育成

具体的施策	評価委員からの指摘事項・ご意見
<p>(1) 道徳教育の充実</p> <p>全学校において道徳の時間の充実に努め、保護者へ授業を公開します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆武雄出身の偉人伝の著作物などの活用を。 ◆ふれあい道徳参加を更に呼びかけ、保護者・地域の方に道徳教育の重要性を授業や講演会を通じて広めたい。道徳教育の充実をはじめ様々な教育活動の充実を図り、児童生徒に人の大切さ・人としての道を指導していく。 ◆地域の人材を活用した触れ合い道徳など実施したら保護者の関心も高まるのではないだろうか。
<p>(2) 不登校やいじめ、問題行動への対応と相談体制の充実</p> <p>学校・家庭・地域等が連携して、「いじめ」「不登校」「問題行動」への早期対応や教育相談の充実に取り組み、未然防止に努めま</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆いじめ対策条例ではなく、いじめ防止基本方針を早急に策定する。子ども会議で、いじめをなくす話し合いがなされているのは良い。全児童生徒にしっかりと意識が定着するようにしてほしい。 ◆各学校の計画に教育相談の期間を位置付け、全職員で児童生徒に向き合うとともに、保護者の学校支援・担任の支援なくしてはいじめ根絶も問題行動の解決も難しい。わが子も人の子も大切にす

<p>す。</p> <p>不登校児童生徒を減らすため、目標を設定し、関係機関が連携した取り組みを進めます。</p> <p>法の整備に伴い、武雄市「いじめ対策条例」を作成し、いじめの根絶を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆いじめや不登校に対して、他人や担任だけに任せるのではなく、学校全体として取り組む体制を整えてほしい。 ◆不登校児童生徒数を全児童生徒の1%以内としてあるが、何人とした方が分かり易いのではないか。 ◆「スクラム」に入級させている学校は、「スクラム」に任せ放しではなく、月に一度は担任や校長が「スクラム」を訪問して、子どもの様子を見てほしいとの声を耳にする。
<p>(3) 人権・同和教育の充実</p> <p>人権・同和教育への理解を深めるため、積極的に校外での研修に参加し、指導の充実に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆人権教育と同和教育の兼ね合いが難しい。 ◆今後も人権・同和教育の充実を図っていく。
<p>(4) 特別支援教育の推進</p> <p>「学校生活サポート事業」や「特別支援学級補助員配置事業」を進め、支援を必要とする児童生徒に対して、きめ細かな指導、支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆発達障害と思われる児童生徒の増加による対応は、支援員の増員だけでは対応は難しいので、仕組みづくりをお願いしたい。 ◆今後もきめ細かな指導・支援を図っていく。 ◆特別支援学級と普通学級、また、必要とされる場所への支援員の配置など、柔軟に運用されているのはいいと思う。
<p>(5) 特色ある学校づくりの推進</p> <p>学習活動、学校行事など、教育活動において、地域の実態や特性を生かした学校づくりに取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域の中の学校としてオリジナルな学校づくりの推進を期待する。

【重点事項 3】 たくましい身体の育成

具体的施策	評価委員からの指摘事項・ご意見
<p>(1) 基本的な生活習慣の定着</p> <p>保護者との連携・協力により、「早寝・早起き・朝ごはん運動」を推進し、基本的な生活習慣を身に付けさせる取り組みを進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆朝食喫食率を目標にするのは難しい。しかし、数値だけを目標とせず、しっかり取り組まれている。 ◆家庭の協力ができない事なので、保護者への啓蒙を図る事を考えてほしい（親子で夜10時すぎに飲食店で食事している光景をよく見る）。また、その指標（目標数値）を検討してほしい。 ◆ゲーム等をして夜更かしをしたり、家庭によっては、様々な悪い環境の中での生活をしたりしている子どもたちがいる。不登校の子どもたちは昼夜逆転の生活になっていることもあるので、そのような家庭の保護者や関係機関等との連携をさらに進めて改善を図っていくことが必要だと思われる。
<p>(2) 食育の推進</p> <p>①学校給食の指導を充実させ、「食」の自己管理能力や望ましい食習慣の定着を目指し、食育の充実に積極的に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆食の安全として、食物アレルギー対策を入れておいてほしい。 ◆学校給食を通じて、食の大切さ・ありがたさを児童・保護者・地域に広めたい。特に、感謝の心を養っていく。 ◆親に食に関する意識をもってもらうためにも「弁当の日」の継続をして欲しい。
<p>② 「たけおの食の日」などを通じて、ふる</p>	

<p>さとの食材の素晴らしさを児童生徒に伝えます。</p> <p>学校給食での県産物の利用促進を図ります。</p> <p>③自校方式学校給食の充実</p>	<p>◆武雄産だけの食材でまかなうよう努力をお願いしたい。</p> <p>◆センター方式より自校方式に変換されたことはよかった。</p>
<p>(3) 健康教育の推進</p> <p>性教育、防煙教育、がん教育、薬物乱用防止などの健康教育を保護者と一体となって取り組みます。</p>	<p>◆児童生徒・保護者・地域に学校の健康教育を授業や講演会等を通じて知らせていく。</p> <p>◆本人のみならず、周りの人にも影響を与える極めて大切なことなので、今後も充実した教育を継続していただきたい。</p>
<p>(4) 体力・生涯体育の基礎づくり</p> <p>①体力テストの結果等を踏まえ、体力向上に努めます。</p>	<p>◆体力テストが向上するような基礎運動を授業へ取り入れてほしい。</p> <p>◆徒歩や自転車での登校・通学、朝や昼休みの遊びなど基礎体力の向上に日常的に努めたい。</p>
<p>②部活動の充実に努め、中学生の体力の向上に努めます。</p>	<p>◆部活動は趣味や技能・体力、人間関係づくりの大切な時間である。更なる充実を期待する。</p> <p>◆部活動の外部指導者を最大限活用してほしい。</p>

【重点事項 4】 幼・保・小・中連携の推進

具体的施策	評価委員からの指摘事項・ご意見
<p>(1) 幼・保・小連携の推進</p> <p>幼・保・小連携に関する具体策を年間計画に盛り込み、計画的に推進します。</p>	<p>◆今後も更なる推進を期待する。</p> <p>◆小1プロブレム解消のためにも計画的に実施してほしい。</p>
<p>(2) 小・中連携の推進</p> <p>中学校による出前授業、小・中連絡会などを行い、小中の連携・強化に取り組みます。</p>	<p>◆義務教育9年間での児童生徒の育成を意識して今後も更なる充実を期待したい。</p> <p>◆中学校からだけでなく、小学校から中学校への出前講座も積極的に実施してほしい。小中一貫教育を目指して。</p> <p>◆小学校から中学校に上がる時は、子どもだけでなく保護者もとても緊張したのを覚えている。是非こういう小中連携は推進してほしいと思う。特に、問題のある子どもについては、しっかり連携して繋げてほしい。</p>

【重点事項 5】 教職員の資質や指導力の向上

具体的施策	評価委員からの指摘事項・ご意見
<p>(1) 教職員研修の実施</p> <p>教職員の自主的研修の推進及び支援を行い教師の指導力向上に努めます。</p>	<p>◆教師力向上のためのセミナーや各種研究会に積極的に参加してほしい。</p>

<p>(2) 服務規律の保持・徹底とメンタルヘルス対策の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆教職員としての使命と責任をあらゆる機会に指導してほしい。 ◆現在、教職員のメンタル面での休職者が急増している。教職員の多忙化を防ぐ対策を考慮すべき。 ◆他市町から転勤して来られた先生については、「スマイル学習」等、今まで以上に自己研修の時間が必要と思われる。そういう意味でもメンタルヘルス対策はしっかりやってほしい。
<p>①教職員としての職務上、身分上の義務の遂行に努めます。</p>	
<p>②勤務時間の適正化を図り、教職員のメンタルヘルスの対策強化を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆いわゆる時間外勤務が長時間に及ぶ教職員の産業医面接を積極的にお願いしたい。 ◆勤務時間の適正化に向けた推進に期待する。
<p>(3) 教職員の意識改革の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆今後も更なる推進に期待する。
<p>① 評価育成システムを活用し、教職員一人ひとりの個性や特性を伸ばし、信頼される教職員の育成を目指します。</p>	
<p>② 教職員の情報教育に関する資質や指導力の向上に努めます。併せて事務の共同実施を推進し、学校の活性化に努めます。</p>	
<p>③ 教育課程を見直し、放課後の指導時間を増加させ、教職員が子どもとふれあい、じっくり向き合う場を確保するよう努めます。</p>	

【重点事項 6】 社会の進展に対応した教育の推進

<p>具体的施策</p>	<p>評価委員からの指摘事項・ご意見</p>
<p>(1) 新たな学校づくりの推進</p> <p>多様性を求め合い、お互いに学び合う教育を推進していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆スマイル学習については、検証を東洋大学の現代社会総合研究所に依頼されているとのことだが、はなまる方式を他の学校に広めるためには研究開発校での検証を。 ◆今後も計画的な取組に期待する。 ◆官民一体型学校2校の公開授業が何回も実施されていて、他校の保護者や地域の方への理解が進んできている。今後は、各学校が画一的な朝の時間の取り組みではなくこれまでのいいところは残しつつ、官民一体型の内容をどのように取り入れていくか具体的計画の立案、検討、協議をしっかりしてほしい。
<p>(2) ICT機器を活用した教育環境の整備・充実</p> <p>電子黒板やタブレット端末等を活用した授業により学力向上を図ります。</p> <p>平成27年度全中学校へのタブレット端末を導入するための環境整備を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆学力の定義の問題もあるが、ICT活用がいわゆる学力向上に結びつく訳ではないので、情報リテラシーも含めてほしい。 ◆授業研究会を通じて教師の基本的な学習過程の確実な習得と児童の実態に応じたICT機器の効果的な活用を期待する。 ◆多額の予算を投入しての事業であり、それに見合う成果を市民も

	<p>期待していると思うので、随時結果を公表してほしい。</p> <p>◆スマイル学習の年間実施予定時数の達成率が、すでに 64.40%という数値の高さはすごいことだと関係者のご努力に頭が下がります。今年度は小学校で 80%、次年度は 90%というぐらいにあまり無理をしないようにしながら着実に伸ばしていただければと思う。</p>
(3) ユニバーサルデザイン教育の推進	◆今後も計画的な取組に期待する。
<p>学校教育の中で、ユニバーサルデザインをテーマとして、他者を思いやる心など豊かな人間性を育む取組みを、関係機関と連携して行い、その理解と普及、実践化に努めます。</p>	
(4) 環境に配慮した教育の推進	◆今後も計画的な取組に期待する。
<p>節電、節水、リサイクルの周知や、学校内外の清掃作業等の取組みを、関係機関と連携して行い、地球環境に配慮した指導・実践に努めます。</p>	

基本目標 II 生きがいを高める生涯学習・生涯スポーツの推進

【重点事項 1】 明日を担う青少年教育の推進

具体的施策	評価委員からの指摘事項・ご意見
(1) トムソーヤ事業の推進	<p>◆子育て・親育ち講座の保護者への学習機会の提供を今後も推進してほしい。</p> <p>◆子育て、親育ちの講座は、目標数値を回数ではなくて、参加者率か数にして、子育て中の親が一年間 1 回は参加することを目指していただき、親育ちが必要な親が参加するようになることを期待する。</p>
① トムソーヤプランの推進	
<p>トムソーヤプランを「武雄市次世代育成支援行動計画」とあわせて推進します。</p>	
② トムソーヤの森の活用	
<p>保養村を子どもたちの体験活動・交流の場の拠点として活用します。また、学校や市民への啓発活動を推進します。</p>	
③ 事業の啓発、保護者への学習機会の提供	◆乳幼児期の発達支援の中で、すこやかママクラスへの参加者が少ないのが気になる。参加者がより参加し易いような方法を考える必要があるのでは。子育て総合支援センターに来られている方々も少し固定化してきているように思える。
<p>トムソーヤ事業の実績を発表することで事業の啓発を行います。また、保護者のために学習機会の提供を行います。</p>	
(2) 就学前における地域との絆づくり	
① 乳幼児期の発達支援	
<p>妊産婦学級などを実施し、乳幼児期の健やかな発育を支援します。</p>	
② 保護者の学習機会の充実	

<p>家庭での教育力向上のため保護者のニーズにあった支援をします。</p>	<p>◆次代を担う子どもたちの育成には、家庭の教育力の向上・充実が不可欠である。様々な講座に多くの保護者が参加され、その内容と行動が広まることを期待する。</p>
<p>③子育てグループ活動の充実と支援</p>	
<p>子育て支援者交流会の実施、子育てグループの活動場所の提供、啓発など交流、活動を支援します。</p>	
<p>④ブックスタート事業の推進</p>	
<p>乳児（4ヶ月児）を対象に、絵本を通して親子の心の交流を深め、心安らぐ時間を共有してもらうよう事業を継続します。</p>	
<p>（3）義務教育期の体験学習の機会提供と支援</p>	<p>◆放課後児童クラブの活動場所の確保と研修による指導者の質の向上を図っていく。</p>
<p>①地域間交流やボランティア活動等の社会参加機会の拡充</p>	<p>◆放課後児童クラブと学校との連絡調整（児童・保護者への連絡、施設の使用状況、トラブル対策など）が随時必要となる。そのために両者の橋渡しをする支援員を置くなど、全体を掌握し指導・管理することが必要である。</p>
<p>区民会議等を通じて子どもたちへの地域行事などへの参加を推進します。</p>	
<p>②青少年育成市民会議への支援</p>	
<p>地域・家庭と連携し、子どもたちの安全確保や有害環境から守る取り組みを支援します。</p>	<p>◆学校から帰ってから地域の中で遊ぶ子が極端に減少し、違う学年の人たちと一緒に遊ぶこともほとんど見られない。土日以外に週に1回ぐらいは、子どもたちがのびのびと、地域で遊ぶようになればいいと思う。そのためには、部活、放課後児童クラブは曜日を決めて休みにし、その日は、見回りパトロールを強化して、安全な環境づくりをしていくことも大切である。</p>
<p>③指導者養成事業の充実</p>	<p>◆子ども会加入率を限りなく100%に近づける。</p>
<p>子ども会活動などを支援する指導者の研修会を実施します。</p>	
<p>④放課後子どもプラン推進事業の実施</p>	
<p>子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進します。</p>	
<p>⑤公民館と学校教育の連携</p>	
<p>社学連携による子どもたちの体験学習や地域活動を推進する。</p>	
<p>（4）青年期における学習・活動の機会拡充</p>	<p>◆今後も学習・活動の機会拡充を図っていく。</p>
<p>①ジュニアリーダーの育成及び活動機会の充実</p>	<p>◆「わんぱくスクール」等、永年続いているのを嬉しく思う。スクールの卒業生がジュニアリーダー、シニアリーダーと続き、将来は地域、まち、市のリーダーと成長してほしい。</p>
<p>研修会などを充実し、公民館等を通じて活動の場を増やすよう努めます。また、リーダーの加入促進に努めます。</p>	
<p>②学習機会の提供・支援</p>	
<p>多くの仲間との絆づくりが出来る学習機会の場を提供します。また、経済的理由により大学等への就学が困難な者への支援を行います。</p>	

【重点事項 2】 生涯学習の推進

具体的施策	評価委員からの指摘事項・ご意見
(1) 学習機会の提供	
①出前講座メニューの充実及び講座の実施	◆様々な施策が行われている。サービスの充実と市民の声を生かした企画の充実を期待する。図書館前の駐車場は土・日はもとよりいつも満車状態である。植栽保護の駐車と交通事故防止を願っている。
身近で分かりやすい充実した講座を提供します。	
②学習団体への支援強化	◆あらゆる学習の場があつて、生涯学習が進められていいことだと思う。武雄町に集中しているので、武雄町以外の町から公民館等の車で市立図書館まで週に1回ぐらいでいいので送迎してもらえるようになれば、車を運転されない高齢者の学習が可能になり楽しみも増えられるのではないだろうか。
公民館サークルなどへの支援を行います。	◆市立図書館では点訳、音訳サービスも行われている。全ての人に優しい図書館・歴史資料館であることも一筆入れてほしい。
③図書館・歴史資料館のサービスの向上	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民価値の高い図書館サービスの充実を図ります。また、各種講演会をはじめ子ども司書講座、古典講座、古文書講座、読み聞かせ会等を実施し、その充実を図ります。 ・MY 図書館構想を具体的に推進し、全ての市民に等しく図書館の図書や資料に親しむ機会を提供します。 ・乳幼児を含めた子どもを中心に保護者も楽しめる「キッズライブラリー構想」を推進します。 	
④図書館・歴史資料館企画展の充実	
<p>武雄の歴史・文化・伝統など、歴史的特性を紹介し、郷土武雄について再認識・再発見してもらうために、企画展を開催します。</p> <p>また、企画展資料を中心に、HP で紹介したり、ギャラリートークなどを開催し広報活動に努めます。</p>	
⑤公民館活動の充実	
地域支援員を配置し、自治公民館活動への支援を行います。	
(2) 地域連帯感の醸成	
①生涯学習市民講師事業の推進	
生涯学習市民講師の派遣事業を推進します。	◆地域活動の実施が50%となっている。施策を推進するためには地域の実態を把握して手だてを講じる必要がある。
②異世代間交流の促進	
地域の行事などへの積極的な参加を勧め、安全・安心な地域づくりを推進します。	
(3) 人権尊重社会の形成	
① 市民や企業・団体などを対象とした啓発活動の推進	◆計画的に実施されており、引き続き継続してほしい。

<p>人権問題学習会や出前講座を開催し、人権意識の高揚を目指します。</p>	
<p>②人権問題講演会や研修会の開催と参加奨励</p>	
<p>・「人権フェスタ in たけお」の開催と内容の充実に努めます。</p>	
<p>・人権・同和問題についての正しい理解・認識と自らの課題として意識向上を目指します。</p>	
<p>③学校人権・同和教育との連携</p>	
<p>・市内小・中学生から人権標語を募集し、人権標語展を開催します。</p>	
<p>④人権標語作品集と人権標語ステッカーの作成</p>	
<p>市民各層への啓発活動を促進します。</p>	

【重点事項 3】 生涯スポーツの推進

具体的施策	評価委員からの指摘事項・ご意見
<p>(1) 県民体育大会の開催</p> <p>第67回県民体育大会の開催地（メイン会場）として、適切な大会運営と競技レベルの向上、情報発信に努めます。</p>	<p>◆今後も施策の推進・充実に努めていく。</p>
<p>(2) 総合型地域スポーツクラブの活動支援</p> <p>事業メニューの充実、運営体制の強化、財源の安定化を図りながら、独立したクラブ運営を目指します。</p>	<p>◆総合型地域スポーツクラブの自立までには、しばらくは行政の支援が必要だと思われる。</p> <p>◆大きな大会を開催するために公認の競技場が他市町に比べ少ないようなので、施設の充実に努めてほしい。</p>
<p>(3) スポーツ推進委員による生涯スポーツの推進</p> <p>市スポーツ推進委員においてニュースポーツ研修を行い、各町での普及活動を計画的に行います。</p> <p>普及活動の総括の場として、全市的な交流を図るために市スポーツ・レクリエーション祭を開催します。</p>	<p>◆今後も施策の推進・充実に努めていく。</p>
<p>(4) トップアスリートとの交流推進</p> <p>関西大学や各種競技団体との連携を密にし、市内で自主トレを行うトップアスリートとの交流等を積極的に図ります。</p>	<p>◆トップアスリートとの子どもたちとの交流がなされていて、1年に1回でいいので、今後もいろいろな種目で交流が行われることを望む。</p> <p>◆現在、日本や世界で活躍しているスポーツ選手の話に、小さい頃トップクラスのスポーツ選手の活躍するのを見て、そのスポーツを始めたということがある。是非、いろいろなスポーツを直に見</p>

	る機会を多く作ってほしい。
(5) 基礎体力向上のメニューの開発と推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆運動メニューの開発については、大学などと連携し進めてください。また、小学生の社会体育クラブの円滑な運営を。 ◆武雄市の目玉となる基礎体力向上につなげるメニューの開発に期待する。
子ども達の基礎体力向上と、高齢化社会に対応した、運動メニューの開発、推進を関係部署と連携を図りながら行います。	
(6) 各種生涯スポーツ大会の誘致	<ul style="list-style-type: none"> ◆大会開催のための施設の充実を。 ◆全体的にスポーツ面での振興が遅れているのでは。
各種生涯スポーツに関し、コンベンションを前提とした大会を市内で開催できるよう、関係各所との連携を図ります。	
(7) スポーツ情報の発信	◆今後も施策の推進・充実を図っていく。
各種メディアを利用し、スポーツに関する情報を広く市民に提供します。	

基本目標 III 明日につながる伝統文化の継承と多彩な文化の創造

【重点事項 1】 市民文化の振興と継承

具体的施策	評価委員からの指摘事項・ご意見
(1) 文化活動の育成・推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆計画通り実施ができています。今後も推進と充実を図る。 ◆文化会館の廊下に子どもたちの絵が掲示されている。学校に向く機会の無い者にとっては、とても心癒される空間になっている。年に何回かの文化祭等よりも訪れる毎に絵が貼りかえられているのがとても良い。
武雄市文化連盟に属する各種文化団体の活動を支援し、文化会館・山内改善センター・北方公民館を主会場に文化祭や美術展覧会を開催します。 弁論大会を開催し、子どもたちに自分の意見や体験発表の場を設けます。 こどもあーとDEスマイルオフィスを実施し、子どもの夢や個性・能力を知ってもらい、地域の方々に子どもたちと市民の交流を通じて、地域の活性化を図ります。	
(2) 芸術文化事業の充実	
公募により図書館・歴史資料館の企画展示室を個人・団体に貸し出し、武雄の優れた文化活動を広く市民に紹介するよう努めます。 市民が参加・企画する、たけお音楽祭などを継続して支援します。 優秀映画・クラシックのコンサート等の優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供します。	◆優れた芸術文化の鑑賞には入場者の増加を目標に広報活動を進める。ほぼ計画通りに実施ができています。今後も推進と充実を図る。
(3) 武雄市民ジュニアウインドオーケストラ育成事業の推進	◆今後も推進と充実を図る。

<p>中学生を中心とした武雄市民ジュニアウインドオーケストラによる、吹奏楽等音楽活動の場を提供します。</p>	<p>◆10年間、土・日出勤で大変お疲れ様でした。準備から楽器の搬入撤去等、軌道に乗るまで、そして続けるということは大変だったと思います。卒業した子ども達の中から一人でも二人でも良いから指導者になって武雄に戻ってきてくれたらと思います。</p>
---	--

【重点事項 2】 文化財の保護・伝承と活用

具体的施策	評価委員からの指摘事項・ご意見
<p>(1) 国・県・市指定史跡等の環境維持と活用</p> <p>国・県・市が指定する史跡・天然記念物の環境の維持・保全に努めます。特に窯跡の保全対策を強化します。</p>	<p>◆市における盗掘防止策の予算化を。</p> <p>◆文化財は武雄市の宝であるため、関係機関、地域と連携して環境の整備と維持、活用を更に推進してほしい。</p> <p>◆武雄市内には多くの窯跡があると思うが、市民はどこにどのような窯跡があるか理解されていないのでは？窯跡巡りマップなどを作成して広く市民に知らせてほしい。盗掘防止に配慮した上で。</p> <p>◆史跡・天然記念物の環境保全とともに、地域住民での史跡等巡りを勧め、支援をすることで地域や歴史を知り、保全や地域への愛着にも繋がるのでは。</p>
<p>(2) 史跡おつぼ山神籠石の公有化と整備計画の策定</p> <p>公有化に向けて、登記簿名義人の調査を進め、権利者との協議に取り組みます。</p> <p>また、史跡おつぼ山神籠石の積極的な活用のため、整備計画の策定を進めます。</p>	<p>◆策定委員会開催に向けて取り組んでほしい。</p>
<p>(3) 無形民俗文化財の後継者育成と発表会の充実</p> <p>国・県・市の補助金や各種財団の助成金制度について情報を提供し、保存会活動を支援します。</p> <p>また、武雄市伝統芸能保存連絡協議会を中心に、後継者育成を目的とした発表の場の提供を図ります。</p>	<p>◆荒踊などを地元の小学校に普及させ、伝承を。</p> <p>◆伝統芸能の伝承は、市民の理解と協力が欠かせない。人的・物的・時間等の課題があろうが補助金や助成金の制度を活用できるよう広報をしてほしい。</p> <p>◆各地域には伝統文化や伝統芸能があるが、今どの地域も後継者不足に苦慮されている。地域と市が一体となって継承できる体制を整備してほしい。</p> <p>◆各地区から各町まで範囲を広げ、伝統芸能がない地区にも協力を要請し、町全体での保存活動に広めていくようにできれば、町内のつながりもできるし、自分達の町の伝統芸能という意識も高められるのではないかと。</p>
<p>(4) 文化財資料の調査と指定</p> <p>本市に所在する重要な文化財を後世に伝えるため、物件の調査を行い、普及活動を行います。</p>	<p>◆計画的な推進に期待する。</p>
<p>(5) 開発と埋蔵文化財保護との調整</p> <p>土地の開発に関し、埋蔵文化財保護との調整指導を行い埋蔵文化財の保護に努めます。</p>	<p>◆計画的な推進に期待する。</p>

基本目標 IV 安全・安心な教育環境の整備

【重点事項 1】 安全・安心な教育環境の整備

具体的施策	評価委員からの指摘事項・ご意見
(1) 安全・安心な環境づくり	
① P T A等と連携・協力して、不審者、声かけ事案等から子どもたちを守ります。	◆日常的に地域の関係者が児童生徒の安全・安心の環境づくりに協力をいただいている。
② 通学路の安全確保のため、学校・家庭・地域社会の協力体制のもと、日常点検等を行い、交通事故等の未然防止に努めます。	
(2) 安全教育の徹底	
① 「自分の身は自分で守る」意識の定着を目指し、防犯ブザーの所持徹底を図ります。	◆全ヘル運動は、学校だけの実施ではなく、家庭や地域への協力と声かけを勧めていくことで、あと数パーセントアップが期待できると思われる。地域の方の見守りと指導が大切だと思う。 ◆モラルの育成には、市連 P・各学校・青少年育成協議会等を通じて保護者の協力が必要である。特に、家庭でわが子への指導が欠かせない。
② 「全ヘル運動」を実施し、自転車に乗るときのヘルメット着用を推進します。	
③ 安全に関わる訓練を行い児童生徒の危機回避能力を高めます。	
④ インターネットやスマートフォン等の利用に関するモラルの育成に積極的に取り組みます。また、関係機関、保護者と連携し、児童生徒に適正な利用の指導を行います。	

【重点事項 2】 教育施設・設備の充実

具体的施策	評価委員からの指摘事項・ご意見
(1) 教育施設・設備の点検、整備	
① 学校環境衛生の基準に基づき、定期検査、臨時検査及び日常の点検を行い、学校における環境衛生の管理に努めます。 また、公民館・スポーツ施設の定期検査や日常的な点検調査を行い、安全で快適な施設の維持管理に努めます。	◆計画通り実施ができています。今後も推進と充実を図る。
② 児童生徒が安心して学べる学校生活空間づくり、安心して遊べるための環境整備に努めます。 また、誰もが利用しやすいよう、バリアフリー等にも配慮した施設づくりに努めます。	
(2) 安全・安心な学校づくり	
① 学校施設・設備の定期点検、日常点検で危	◆計画通り実施ができています。今後も推進と充実を図る。

<p>険箇所や劣化の状況を調査し、安全・安心な学校施設・設備の維持管理に努めます。</p>	<p>◆耐震化率をすみやかに100%にしてほしい。</p>
<p>②耐震診断の結果、I s 値（注1）が0.7未満の学校施設の耐震化を図ります。</p>	
<p>3) 安心して学べる快適な社会教育施設づくり</p> <p>公民館、スポーツ施設をはじめとする社会教育施設の整備については、計画的に取り組めます。</p>	<p>◆計画通り実施ができています。今後も推進と充実を図る。</p>

基本目標 V 市民総参加による教育の推進

【重点事項 1】 地域のよさや伝統を生かした教育の推進

具体的施策	評価委員からの指摘事項・ご意見
<p>(1) 地域を生かした教育活動の推進</p> <p>地域の「人」「もの」を教育活動で積極的に活用します。</p>	<p>◆計画通り実施ができています。今後も推進と充実を図る。</p>
<p>(2) 地域に根ざした学校運営の推進</p> <p>地域行事への児童生徒の参加を積極的に推進します。</p>	
<p>(3) 地域文化の継承と文化財保護意識の高揚</p> <p>①史跡めぐり等を開催し、文化財保護の精神を育むとともに、史跡や伝統文化等の文化財が市民にとって身近な学習教材となるよう努めます。</p> <p>②文化財防火デー火災防御訓練を実施し、貴重な文化財を保護する精神を育むよう努めます。</p> <p>③伝統文化・芸能を継承するため、後継者の育成に努めます。</p> <p>④武雄らしい風土（歴史的環境）を守り、市民自らが文化財に対する理解を深める文化財保護思想の醸成・高揚を図ります。</p>	<p>◆地域行事よりスポーツ少年団や中学校の部活動を優先する傾向がつよいので、学校側と協議し、できるだけ多くの小中学生が地域行事へ参加できるようにしてほしい。</p> <p>◆地域行事は今、子どもクラブ単位で行われている。保護者が忙しいのか、高学年になってからお世話役をするのがいやなのか子どもクラブに入っていない子どもが増えている。何か良い方法はないか考える時にきているのではないのか。</p> <p>◆各地区から各町まで範囲を広げ、伝統芸能がない地区にも協力を要請していくことで、町全体での保存活動に広めていくことができるのでは。</p> <p>◆「私たちの武雄市」は、市内教職員（社会科主任等）の協力で作成されている。何かの機会に紹介があれば作成者も児童も指導意欲・学習意欲の高揚に繋がるのではないか。</p>

【重点事項 2】 学校・家庭・地域・諸機関・事業所などとの連携の推進

具体的施策	評価委員からの指摘事項・ご意見
(1) 学校教育活動の公開	
① 「学校評議員」「学校関係者評価」を活用し、学校教育活動を積極的に公開します。 ② 学校リーフレットや学校ホームページ等で児童生徒の様子を保護者や地域に積極的に公開します。	◆学校教育活動の公開（学校便り・HP等）は、教育を外に開くうえで意義がある。他県を含めて武雄市の教育に関心がある方はHPの更新を待ち望んでいる。 ◆学校ホームページで、学校の教育活動の内容が公表されていて、市内外のすべての学校の様子が分かることはすばらしい。
(2) 地域、関係機関との連携強化	
地域、関係機関との連携を深め、地域支援本部の立ち上げなど地域全体で子どもの支援に取り組みます。	◆計画通り実施ができています。今後も推進と充実を図る。
(3) キャリア教育の推進	
市内外の企業・事業所等や市民の協力を得ながら、職場体験学習を充実させます。 武雄の先輩の力を教育活動に活かします。	◆計画通り実施ができています。今後も推進と充実を図る。先輩方の参加は生徒の実態を知るうえで貴重な時間となる。

【重点事項 3】 教育委員会の積極的な情報公開

具体的施策	評価委員からの指摘事項・ご意見
(1) 教育委員会の会議の公開	
教育委員会会議の開催日程などを広報し、会議への傍聴を積極的に働きかけ、会議録の公表に努めます。	◆ひとりでも多くの方が教育委員会の会議を傍聴されるようにしてほしい。そうすることで、教育に関する関心もさらに高くなると思われる。
(2) 公民館活動の積極的な公開	
各町公民館から、より地域に密着した行事、話題や出来事などを、公民館だよりやホームページなどで積極的に公開します。	◆各町公民館では各種団体のお世話から事業の準備等職員一同頑張ってもらっている。その中でも武雄公民館は、武雄市の人口の約三分の一近くが住んでいるにも関わらず、職員は他町と変わらず、職員の仕事の負担はとても重い。昨年からは支援員が1人増えたが、それも他町と変わらない。プラス1人してもらえばとても助かると思われる。
(3) 教育委員会の点検評価	
教育委員会での自己点検・自己評価を行い、外部の有識者で構成する評価委員会の意見を添えた「武雄市教育委員会点検評価報告書」を市議会へ提出するとともに、市民の皆様へ公表します。	◆分かりやすい公表を心掛けて下さい。

《外部評価委員の意見等まとめ》

- (1) 適正な目標値の設定を図っていただきたい。目標はあくまで結果指標であり、目標設定に無理があると、どれだけ努力しても達成できないことがある。
- (2) 評価をもとにしたPDCAサイクルの確立を図っていただきたい。
- (3) 先進的な事業については、しっかりとした検証を行い、これからの教育行政に活かすことを期待する。